

◎東京圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)からつくば市内への年間転入者数の動向

新型コロナ

	まち・ひと・しごと創生総合戦略					第2期戦略プラン				
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	3,843	4,334	4,474	4,630	4,692					
実績値	4,194	4,221	4,561	4,537	4,714	5,497	5,929	5,626	5,492	

東京圏からつくば市内への年間転入者数の動向



平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度

— 目標値 — 実績値

◎つくば市内から若者(15～29歳)の年間転出者数の動向

新型コロナ

	まち・ひと・しごと創生総合戦略					第2期戦略プラン				
	戦略の改訂									
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	5,821	5,917	6,001	6,073	6,133					
実績値	5,944	5,963	6,071	5,973	6,051	5,740	5,840	6,798	7,187	

つくば市内から若者の年間転出者数の動向



平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
5,821	5,917	6,001	6,073	6,133	5,740	5,840	6,798	7,187	

— 目標値 — 実績値

第2章 現況と課題

4) 人口動態の推移

人口の自然動態を見ると、出生者が死亡者を上回る自然増の状態が続いています。また、社会動態を見ると、転入者が転出者を上回る社会増の状態が続いています。

転入者について見ると、平成23年(2011年)以降はおおむね増加傾向にありましたが、令和5年(2023年)は約18,000人に減少しました。一方、転出者は、平成25年(2013年)以降はおおむね横ばいで推移しており、令和5年(2023年)は約15,000人に増加しました。

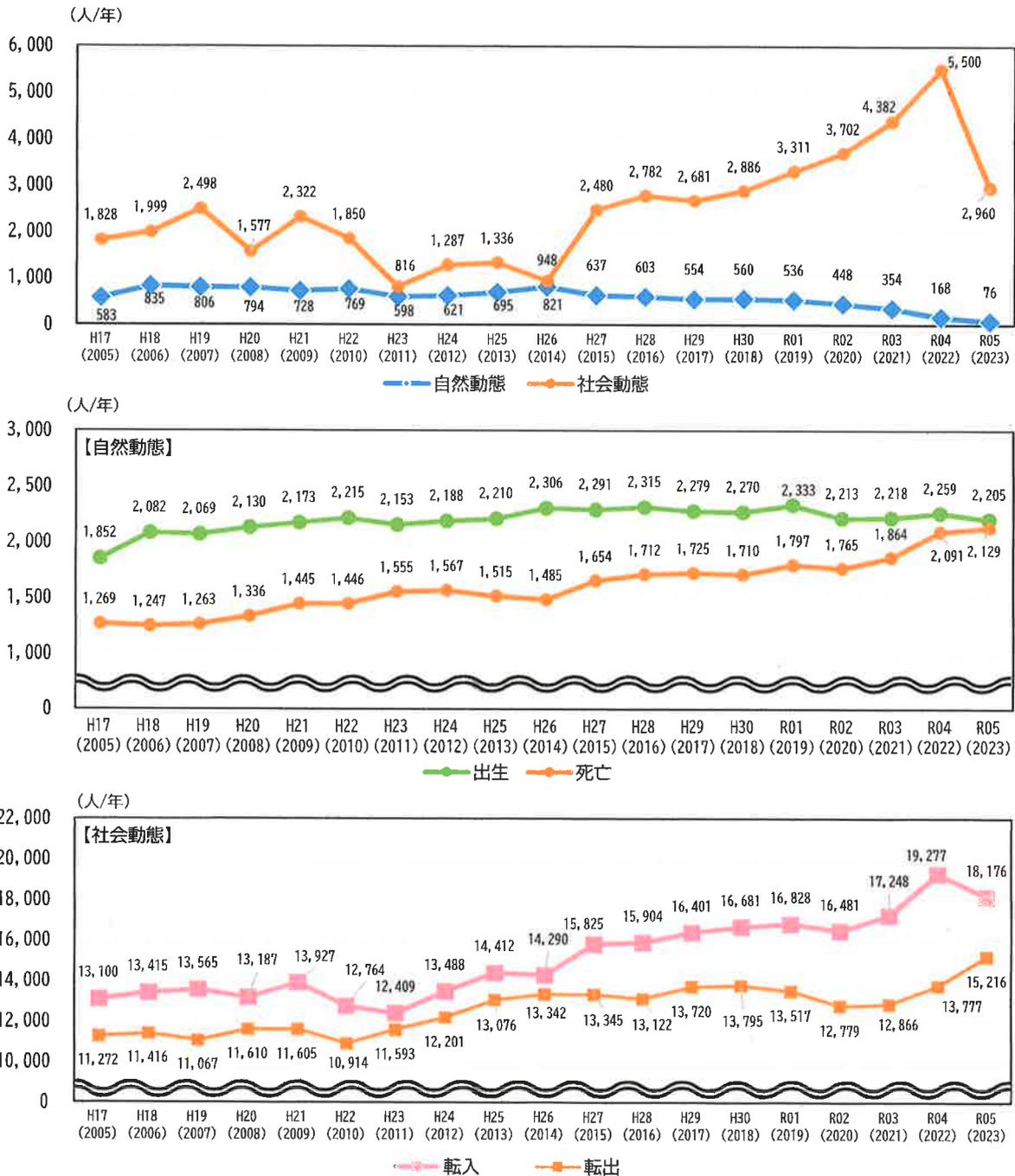


図 人口動態の推移

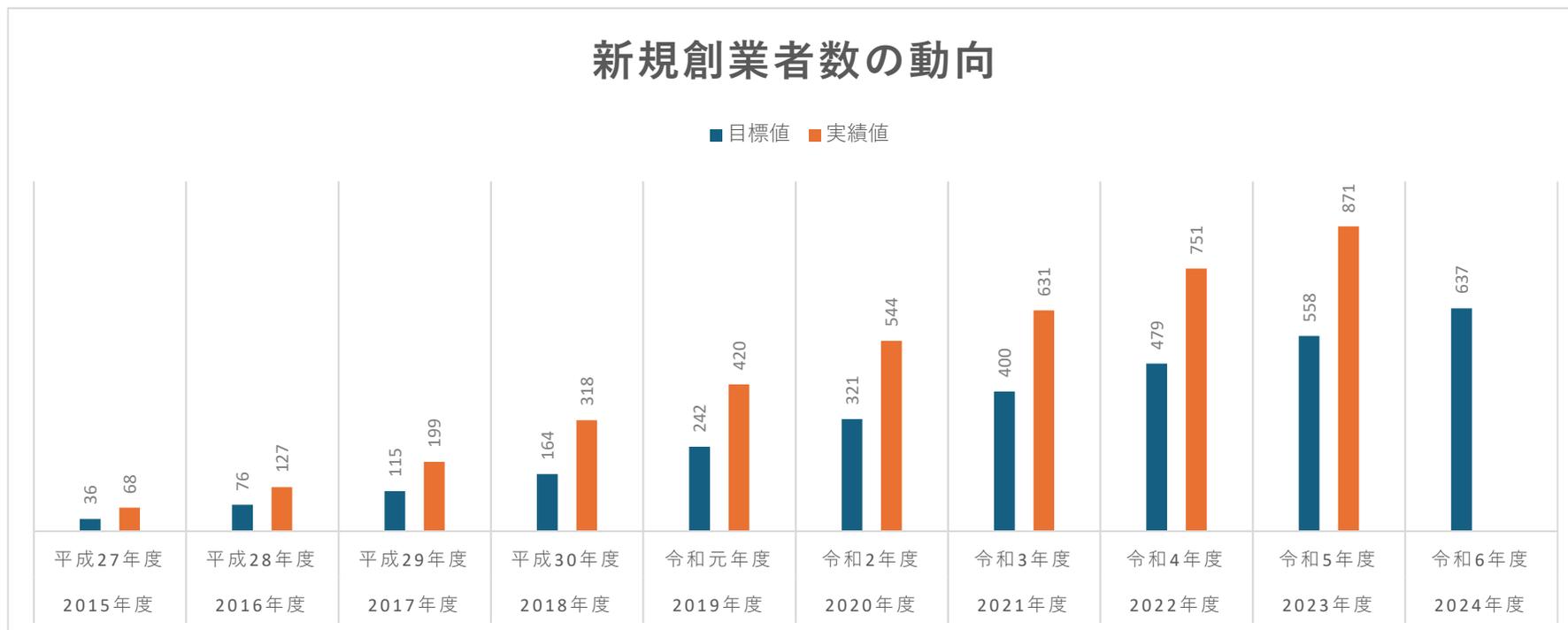
(統計つくば 2023 より作成)

※数値の変化をわかりやすくするため、図の一部において縦軸を省略しています

◎新規創業者数の動向

新型コロナ

	まち・ひと・しごと創生総合戦略					第2期戦略プラン				
	戦略の改訂									
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	36	76	115	164	242	321	400	479	558	637
実績値	68	127	199	318	420	544	631	751	871	



4-3. 市内大学生の就労状況・ニーズについて

市内大学生のポテンシャル

市内に存在する大学（在籍者数）

- ・ 国立大学法人筑波大学は…16,507名（10学群・27学類）
- ・ 国立大学法人筑波技術大学…330名（聴覚障害系）
- ・ 学校法人筑波学院大学…427名（外国人留学生134名を含む）

市内学生の就労ニーズ（勤務地域・条件）

- ・ 就職したい地域は、「東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）」（69.2%）、「つくば市」（14.9%）が上位
- ・ 就職する際に重視する点については、「やりたい仕事ができること」（66.5%）、「報酬がよいこと」（57.6%）、「自分の能力・専門性を活かせること」（56.6%）が半数を超過

学年別(上5行) 日本人・外国人別(下2行)	全体 (N数)	つくば市	つくば市以外 の地域	東京圏 (東京、神奈川、千葉、埼玉)	関東圏 (栃木、群馬、茨城、埼玉)	中部圏 (山梨、長野、岐阜、愛知)	近畿圏 (京都、大阪、兵庫)	その他 (北海道、東北、北陸、中国、四国)	不明
全体	427	14.9	7.9	69.2	6.8	14.1	1.8	7.9	12.6
3年	182	14.8	3.9	68.1	8.2	14.2	8.2	6.2	14.6
4年	42	14.8	7.0	69.0	2.2	14.3	4.7	2.8	14.3
修士1年	68	22.2	11.1	44.4	5.9	13.9	5.3	11.1	17.1
修士2年	35	10.0	4.3	60.0	10.0	14.3	2.9	7.0	6.9
博士課程	14	14.3	14.3	5.0	85.7	9.2	14.3	14.3	14.3
筑波大留学生	332	11.8	7.0	67.2	6.9	13.2	7.0	8.2	14.1
筑波学院大留学生	33	30.3	12.1	61.2	9.1	24.2	12.1	23.2	20.2

学年別(上5行) 日本人・外国人別(下2行)	全体 (N数)	やりたい仕事 ができること	自分の能力・ 専門性を活か せること	報酬がよいこ と	希望する地 域に就職でき ること	希望の大き く安定性が高 いこと	知識・技能が 高いこと	英語が得意な こと	資格・免許が あること	英語が得意な こと	海外に就職し たいこと	海外に就職し たいこと	その他
全体	427	66.5	56.6	42.7	37.6	22.0	9.4	22.8	43.4	36.2	16.4	6.6	13.4
3年	182	71.9	51.9	38.4	38.5	14.3	8.8	29.4	42.3	29.6	6.2	9.2	21.5
4年	42	42.9	42.9	28.5	40.5	18.6	28.6	7.0	28.6	44.3	22.2	11.4	9.2
修士1年	68	69.1	55.9	31.5	38.6	22.1	15.1	41.2	38.2	42.6	12.2	9.8	19.1
修士2年	35	61.6	59.2	43.4	37.2	19.7	25.5	14.5	24.2	43.4	35.2	14.5	9.6
博士課程	14	50.0	50.0	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3
筑波大留学生	332	61.8	54.9	42.3	34.2	17.2	9.9	22.3	42.0	26.5	13.1	6.9	13.0
筑波学院大留学生	33	38.5	33.3	42.4	48.2	24.2	24.2	24.2	44.3	22.2	20.2	20.2	20.2

市内就労に向けた課題

市内事業者の認知度

- ・ 市内事業者（所）の認知度は低く、特に市内本店の事業者については2.3%

学年別(上5行) 日本人・外国人別(下2行)	全体 (N数)	知っている		知らない
		市内本店の事業者 を記載した割合		
全体	487	23.8	2.3	76.2
3年	202	16.8	0.5	83.2
4年	70	25.7	2.9	74.3
修士1年	73	23.3	2.7	76.7
修士2年	85	37.6	2.4	62.4
博士課程	57	26.3	1.8	73.7
日本人学生	448	25.0	2.2	75.0
外国人留学生	39	10.3	2.6	89.7

市内事業者へのインターンシップ意欲

- ・ 地域企業へのインターンシップへの参加については、「参加したい」（60.8%）が半数を超過

学年別(上5行) 日本人・外国人別(下2行)	全体 (N数)	参加したい	参加しない
全体	487	60.8	39.2
3年	202	70.3	29.7
4年	70	65.7	34.3
修士1年	73	58.9	41.1
修士2年	85	48.2	51.8
博士課程	57	42.1	57.9
日本人学生	448	60.0	40.0
外国人留学生	39	69.2	30.8